

額予算に対し、下水道管渠費等の予算が少ない等の質疑がなされた。全員賛成にて可決された。

「市道路線の廃止」については、白水小隣接の歩行者専用道路第4三号路線を廃止するものであった。「市道路線の認定」については、白水小隣接の市道第一三四五号、春日原東町の西鉄沿い第一三四六号路線を認定するものであった。第一三四五号路線について、認定後の道路形状、車両通行できない理由、地域の利便性等の質疑がなされた。今後の開発予定地の計画、都市計画道路見直し等も勘案し、協議する旨の回答を得た。現地調査を行い、いずれも全員賛成にて承認された。

予算審査特別委員会

委員長 前田 俊雄

平成二十一年度一般会計の歳入歳出、それぞれの総額は、二百五十七億九千九百九十九万五千円で、対前年度比、三億二千九百四十四万一千円の増額、率にして一・三%の増と積極予算となっている。

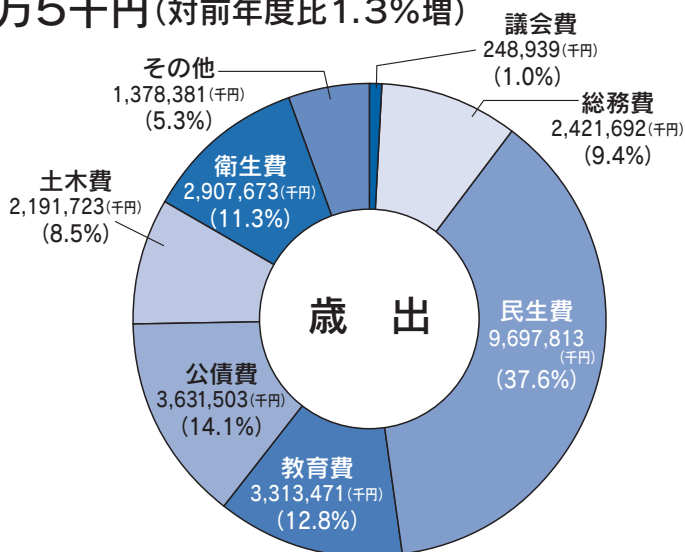
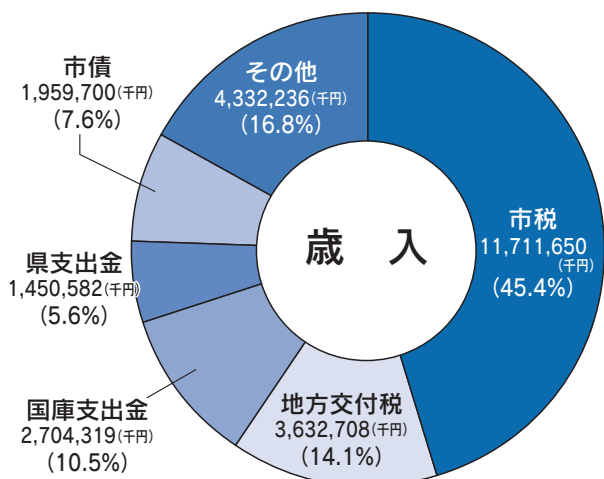
歳入関係では、景気後退にもなう中での積極予算に対し、

その裏づけとなる歳入に関心が集まり、根幹をなす市税は、対前年度当初比、四億二千七百七十三万四千円の減額、普通地方交付税と特別交付税を合計した地方交付税は、対前年度当初比一億五千三百七十七万六千円の増額とはなっているものの、臨時財政対策債が、対前年度当初比五十五・三%増の十三億二千七百九十万円となっていること、基金三本を廃止し、五億二千六十三万五千円を繰り入れていくことが注目すべきところである。こうした中、他の歳入科目での収入捻出をとの意見が出された。歳入関係で議論が集中したが、帰宅チャイム設備撤去、まちづくり交付金の使途及び春日原小学校増築分の空調工事に関してであった。その他、スプリングホール舞台機構装置改修、認定道路内民有地取得事業などについての質疑、意見が出された。採決の結果、賛成多数で可決された。



平成21年度 一般会計予算

総額 257億9,119万5千円(対前年度比1.3%増)



歳入

区分	予算額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
市 税	11,711,650	45.4	-3.6
地方交付税	3,632,708	14.1	4.4
国庫支出金	2,704,319	10.5	0.8
県支出金	1,450,582	5.6	-4.6
市 債	1,959,700	7.6	56.0
そ の 他	4,332,236	16.8	-1.0
合 計	25,791,195	100.0	1.3

歳出

区分	予算額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
議 会 費	248,939	1.0	-0.8
総 務 費	2,421,692	9.4	-6.1
民 生 費	9,697,813	37.6	1.4
教 育 費	3,313,471	12.8	0.2
公 債 費	3,631,503	14.1	-8.4
土 木 費	2,191,723	8.5	16.0
衛 生 費	2,907,673	11.3	16.7
そ の 他	1,378,381	5.3	-1.0
合 計	25,791,195	100.0	1.3